【青森県立青森高等学校　進路通信】

白聖はくあ　第17号　令和8年11月6日発行



《2学年　大学ドリーム講座》

10月29日（木）に、2年生全員を対象に「大学ドリーム講座」が開催されました。大学ドリーム講座は、大学の模擬講義を受講することで、「学問」が人間・社会とどう関わり、いま直面する課題をどう解決し、どのような世界を築いていくかということについて考えを深め、自らの進学志望の具体化に役立てる、を目的として毎年進路指導部が企画しています。今年度は、5つの大学から9名の講師をお招きしました。2年生は9つの学問分野から自分の興味・関心のあるものを選択して、それぞれ大学レベルの講義を受講しました。

	系統	大学・学部
1	人文科学	東北大学　文学部
2	経済学	東北大学　経済学部
3	法　学	弘前大学　人文社会科学部 社会経営過程
4	教育学	東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構
5	理　学	東北大学 理学部 物理学専攻
6	工　学	東北大学工学部 化学・バイオ工学科
7	農　学	岩手大学 農学部 食料農学科
8	情報学	公立はこだて未来大学 システム情報科学部
9	医　学	弘前大学 医学部 医学科

高校生が普段は触れる機会が少ない大学レベルの学問や研究に触れ、生徒たちは高校までの基礎学力がいかに大切なのかを理解するとともに、大学進学の先にある「大学での学び」や「研究とは何か」を考えさせられる貴重な体験となったようです。以下は参加した生徒の学問分野別の感想を抜粋・編集したものです。





・・・・・・・・・・・・・・・　人文科学　・・・・・・・・・・・・・・・

◆学校の授業のような完成された作品から表現技法や主題を読み解くのではなく、時代背景や草稿から作者が大事にしたかったものや迷いを読み解くことが非常に新鮮だった。今回得られた知見や新たな視点を今後の学習の中に取り入れ、多角的に文章を読んでいきたい。

◆文学は書き手と読み手がいて初めて成立するものだと思った。草稿を見て、作家が小説を書きあげるために何度も表現を変えたり消したりしていて、よりよい表現を追い求める姿を学ぶことは、人の心や考え方を学ぶ方法として有用な学問だと思った。

・・・・・・・・・・・・・・・　経済学　・・・・・・・・・・・・・・・

◆経済学は「もったいない」を無くす学問という言葉にとても納得できた。世界中の学者が行った実験や研究などを知り、自分が考えていた経済学とは違い、金銭のことだけでなく個人の能力や生産性も扱う学問だと知った。

◆経済学は「お金の動き」を見るのではなく、「どうやったらお金が動くのか」を学び研究する学問だと知り、今まで抱いていた金融や景気といった経済学へのイメージが良い意味で覆る講義だった。

・・・・・・・・・・・・・・・　法　学　・・・・・・・・・・・・・・・

◆犯罪や事件は必ずしも同じようなことが起こるわけではなく、適応する法律がない場合や、捉え方や考え方によって被告人の人生を変えてしまうことから刑法には正解はなく、答えは1つではないことが分かった。

◆講義中に出された質問の中で、私が絶対にこっちだと考えていたものが、先生の解説を聞くうちにそれまでの自分の考えに疑問を持つようになり、「法学は覚えるより考える」という言葉の通りだと感じた。








・・・・・・・・・・・・・・・ 教育学 ・・・・・・・・・・・・・・・

◆教師は自分の伝えたい思いを真っすぐに生徒にぶつける熱血教師の一面も、子どもの最善を意識して冷静に行動するプロという一面も必要で、人柄を通して「教師」という役職を最高に演じることがゴールであるという講師の考えに心を打たれた。

◆今まで通り変わらずにいることも、柔軟に対応することも大切であり、これからの時代に求められる教育や教師のあり方について深く考えさせられた。教師は人柄も技術も両方が大切となるので、常に学び続ける姿勢を崩さずに、将来自分のやりたい仕事ができるように今からできることを積極的にやろうと思った。

・・・・・・・・・・・・・・・ 理　学 ・・・・・・・・・・・・・・・

◆エネルギーの供給が少しずつ難化してきている現代社会において、環境に良い次世代のエネルギーを考える研究はやりがいがあって非常に面白そうだと感じ、エネルギー分野の研究について調べてみようと思った。

◆化学や物理の知識や技術が燃料電池の開発に用いられていて、自分たちが今学校の授業で勉強していることが研究の基礎になっていると感じたので、自分の進路実現のためにも知識や思考力をしっかりと身に付けたるために毎日の勉強に力を入れていきたい。

・・・・・・・・・・・・・・・ 工　学 ・・・・・・・・・・・・・・・

◆薬を使わずに抗菌材を利用して、薬剤耐性菌の細胞膜にダメージを与える治療が進められていることに驚いた。バイオ工学では重工業や資源、医薬品や電化製品にまで幅広くその技術が活用されていることから、今まで工学に対して持っていたイメージとは異なる興味深い研究分野だと思った。

◆新しいものを開発していくときに実験を何度も繰り返して、その結果からなぜうまくいかなかったのかをしっかりと分析して、その原因をとことん改善していく取り組みは、毎日の勉強方法と同じだと感じた。これから勉強するときは、自分の改善点を見つけ、それを１つ１つ解決して、進路の実現に繋げていきたい。

・・・・・・・・・・・・・・・ 農　学 ・・・・・・・・・・・・・・・

◆ウイルスが少しでも発生すると、そこから一気に感染が広がり、農作物への被害やそれに伴う飢饉の発生など重大な影響に繋がることを理解した。植物病理学はそういった植物ウイルスの原因を解明し、対策を研究する学問であることを知り、私たちの生活を支える大切な学問として非常に興味深く感じた。

◆温暖化や農業従事者の減少によって農作物の安定供給が難しくなっている中で、科学を取り入れた作物栽培に興味を持っていたが、今回の講義で植物ウイルスについて知ることができたので進路の参考になった。

・・・・・・・・・・・・・・・ 情報学 ・・・・・・・・・・・・・・・

◆特徴空間に境界線を引くことで認識の時間を短縮できるという考えは難しかったが、ディープラーニングにより特徴量すらもコンピュータにより設定できることを知り、コンピュータは今後の研究にますます必要不可欠なものなっていくと確信した。

◆現在の生活の中で、便利で当たり前に使っている文字認識の技術の凄さを理解することができた。高次元なベクトルが使われていることから、数学の学習にもっと力を入れて頑張る必要があると感じた。

・・・・・・・・・・・・・・・ 医　学 ・・・・・・・・・・・・・・・

◆病気は生活習慣に関することが起因していることを具体例を交えて教えていただき、非常に分かりやすかった。健康に関する様々なデータや情報が集約されている「岩木健康増進プロジェクト」の取り組みも興味深く、青森県の医療に携わりたい気持ちが強くなった。

◆自分が本当にやりたいことができたときに何よりも健康な身体が大事だと感じた。学生は勉強のために睡眠時間を削ることもあるが、身体を壊さないためにもある程度確保することが大切で、自分だけは大丈夫と思わず、自分の身体を大切にしていきたい。

◆将来の目標が既に定まっているとはいえ、どの道を通るかはまだ具体的には決まっていないため、どれを選んでも後悔することがないよう、その道を極めるべきだという話が強く印象に残った。


